

男と女 半世紀ぶりの再会

高校時代の女友達に半世紀ぶりにお逢いした。

「あなた、いつまでも若いわね」

「いやいや御覧のとおり、おつむの方は光り輝いて……」
「何言ってるのよ。そんな話じゃないの。」

あなた、今でも女に片端から声を掛けてるんだって」

「な、な、な、何を根拠にそんなことを」

「ネットよネット。川津公民館のクチコミを検索してみたの」

「へえー公民館のクチコミもあるんだ」

「そしたらまあ！『館長さんが話し易い』とか『館長さんが気軽に声をかけてくれる』とか女性の名前の投稿がいっぱいあるじゃない」

「知らんがな！」

「あんたは昔から、女と見れば手当り次第ちよっかい出してたじゃない」

「いくら何でも話が飛躍し過ぎだ。公民館に来る人達が、

気持ちよく過ごせるよう振舞うのが、館長たる者の務めなんだ」

「ふん！相変わらず言い訳がお上手ね。それにしてもお元氣なこと！」

「おいおい、ひょっとしてヤキモチ？」

「あんた馬鹿も休み休み言つてよ！もう帰る！」

ネット情報は誤解を生み、甘い追憶に浸るべき時間を、無残にも打ち砕いてしまいました。

ネットには真偽取り混ぜて、好意的なものもあれば、悪意に満ちた情報も溢れています。その情報をどのように扱い、どう解釈するのか。受け取り方は人によって様々です。皆様の身の上にネットを介した悲劇が起ころう祈ります。